

第1回 運営推進会議 議事録

平成29年8月2日(水) 15:30~17:00

デイサービスセンターほんじょう

平成29年4月1日より、デイサービスセンターほんじょうは、「地域密着型通所介護」として指定を受け再稼働となりました。今回、設置が義務付けられている運営会議について説明して参ります。当事業所の委員会メンバーは、ご利用者様代表、ご家族様代表、地域からは、民生委員様、社会福祉協議会職員様、自治体からは包括支援センター職員様、施設管理者及び同法人の診療所 医師で構成させて頂いております。

－ 開催目的 －

事業所が活動状況を報告し、委員から様々な意見や要望を聞いて事業運営に反映させていくことで、地域に開かれた事業所運営の実現やサービスレベルの向上を図る。

① 施設の概要説明

地域密着型サービス

高齢者が要介護状態になった時に住み慣れた地域で生活を継続できるように創設された介護サービスで、事業の認可・監督は市町村が行います。サービスを受けられるのは原則、その市町村に居住する人です。

地域密着型通所介護

利用定員 18 人/日以下の通所介護事業所で生活介助、リハビリ、レクリエーションなどを提供。当事業所では、平成29年4月延べ247名(実働25日)、同年5月延べ272名(実働27日)、同年6月延べ268名(実働26日)、同年7月延べ270名(実働26日)

4月~7月 実働日 104日 延べ人数 1057名 1日平均利用者数 10.1名 利用

② 平均利用者数及び平均介護度の報告

登録数 要介護者 10名 総合事業 19名 自費利用 8名 H29.7月現在

③ 満足度調査アンケートの実施・結果について

※別紙参照

④ ヒヤリハット・事故・クレームについて

それぞれ所定の様式にて管理者へ報告。報告を受けた管理者は本院リスクマネジメント委員会の意見をもらい再発防止策を講じる。

H29.4月~7月まで、ヒヤリハット 4件 事故 0件 クレーム 0件の結果。

ヒヤリハット 1) 5/17 AM8:00 A様

AM8:00前、朝の内服を配布しようとしたところ本人自室より返事なし。当直者へ確認を行ったところ、AM5:00頃より施設敷地内を散歩していたとの弁。職員で手分けし探す。敷地外の自動販売機でジュースを購入しているところを通勤中の職員が確認している。家族宅へ連絡も来ていないとのこと。車両で施設近隣を歩行しているところを発見。ご家族へお詫びを行う。

- 対策 →① 通勤途中で本人様をみつけられた。すぐに携帯を使用し施設へ連絡する。
- ② デイ・支援ハウス・診療所職員共に顔がわかる利用者。事業所の垣根を越えて見かけ次第、施設へ連絡。
- ③ 本人様へは、必ず「外出名簿」への記載、職員への声掛けを外出時に必ず行って頂くよう指導。

2) 7/8 AM9:30 B 様

総合事業の利用者。週2回利用。7/6 利用予定日。7/5 本人様より「頭が重いため明日休みたい」との申し出。家族へも確認。7/7 本人様より「迎えがこない」との連絡あり。本人様へ日付・曜日確認を行ったところ、曜日を間違えている。既に準備を行っていたため曜日振替で利用。送迎に遅れる結果となる。

- 対策 → K P への確認を必須とする。

3) 7/26 AM10:00 C 様

朝の送迎時、利用者様より「昨晚、眠剤を内服し自宅で転倒した」との報告あり。運転手確認。帰所後、他送迎を行っていたスタッフには申し送ったが、実際にホール内で見守りを行う職員へは報告していなかった。利用者様歩行時、座り込みあり。頭を打ったなどはなし。診療所への受診を促すも「大丈夫」とのこと。本人様・ご家族様へお詫びをする。

- 対策 → 申し送りの徹底不足。送迎時、利用者・家族からの上記の様な情報は必ずホール見守り担当者へ聞いたものが直接、報告することとする。

4) 7/27 A 様

支援員の朝の声掛けで利用者様がいなかったことが発覚。敷地内、行きそうな屋外へ車両を用い探すも不在。警察に連絡をと思った矢先、利用者様を発見。事情を聴くと「ジュースを購入しようと出たが知人に釣りに行くためミズを取っておいて欲しい」と言われた事を思い出して徒歩にて奥地へ。

- 対策 → 本人・家族へは「外出名簿」への記載と支援員または当直者等スタッフへ報告を再度依頼。佐伯市役所 高齢者福祉課へ連絡。PM～管理者出席し緊急会議。敷地内にいない場合については、即座に警察に連絡し保護体制を依頼することを確認。8/1 高齢者福祉課職員に施設まで出向いてもらい本人・家族へ指導頂くことに。

⑤ 「お元気広場」について

H29.8月現在 5名の登録。内容については別紙参照。

⑥ その他

消防訓練について

当事業所では、因尾診療所・本匠支援ハウスと合同で年2回予定。最近の「大規模災害」もあって河川氾濫を想定した避難訓練を検討。

「委員の意見」

- 1) 避難訓練については、以前から地域の班長に万が一の場合支援が必要と申し送っている。必要に応じた支援可能。
- 2) 診療所も含め、職員の態度が良くなってきた。
- 3) お元気広場も次回の民生委員会に参加し呼びかけて頂ける。
- 4) 自費利用の1日の値段が高いので少しでも安価にできないか。

上記の意見を頂きました。

地域の方とともに今後も報告・相談・確認の場を作って参ります。

デイサービスセンターほんじょう 管理者 児玉 昭彦